

上部消化管の内視鏡検査を受けられる患者様へ

【検査の目的と方法】

貧血や腹痛の原因を調べたり、潰瘍、ポリープ、癌などを診断するために口、又は鼻から内視鏡を食道、胃、十二指腸に入れて観察します。その際検査医師が必要と判断した場合、病変の一部を採取して生検(組織検査)を行います。ただし、抗血栓薬を内服されている方は出血の危険性が高いため切除は行わず、後日に可能であれば抗血栓薬を休薬した後に切除する事があります。

【検査に伴う合併症(副作用・偶発症)】

診断のための内視鏡検査でも、ごくわずかですが合併症がありえます。前処置で使用する薬剤で稀に発疹、嘔気などの副作用が起こります。ショック(血圧低下)などの重篤な副作用を起こすこともあります。組織検査により、ごく稀に出血や消化管の損傷、穿孔(消化管に傷がついたり穴があいたりすること)などの重篤な偶発症を起こすことがあります。検査後に吐血、下血、タール便(黒い便)や強い腹痛などがあった場合には、当院に至急ご連絡下さい。また検査終了後に目の焦点が合わなかったり、眠気を催すことがあるため、車・バイク・自転車等の運転はお止め下さい。

【偶発症について】

極めて稀に以下のような偶発症の可能性がありますが(全国集計より)

● 観察及び生検のみ

偶発症 0.0005% (20000 人の 1 名。出血、穿孔等)死亡率 0.00019%(529192 人に 1 名)

万一、副作用・偶発症が起きた場合には最善の処置・治療を行います。入院や緊急の処置・輸血・手術などが必要になることがあります。その際の経費は原則として保険診療になりますので、あらかじめご承知おき下さい。

上記事項でご不明な点や質問がありましたら遠慮なくお尋ね下さい。

以上、了解された方は別紙同意書にご署名の上、医師または看護師にお渡し下さい。

川野病院

内視鏡検査及び治療同意書

(短期滞在手術説明・同意書)

検査

- 上部消化管内視鏡 (GIF) :
詳細は別紙「上部消化管の内視鏡検査を受けられる患者様へ」参照
- 下部消化管内視鏡 (CF) :
詳細は別紙「下部消化管の内視鏡検査を受けられる患者様へ」参照
- 内視鏡的逆行性膵胆管造影 (ERCP) :
詳細は別紙「上部消化管の内視鏡検査を受けられる患者様へ」参照
- 上部及び下部消化管ステント留置術
- 内視鏡的胃瘻造設術 (PEG)

川野 幸夫 ④

主治医 川野 勸 ④

坂部 俊一 ④

私は上記の内視鏡検査・治療・短期滞在手術を受けるにあたり、
検査の内容、副作用、偶発症について十分理解した上で同意いたします。

年 月 日

患者様署名 _____ ④

代理人 (患者様との関係) _____ () ④